

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

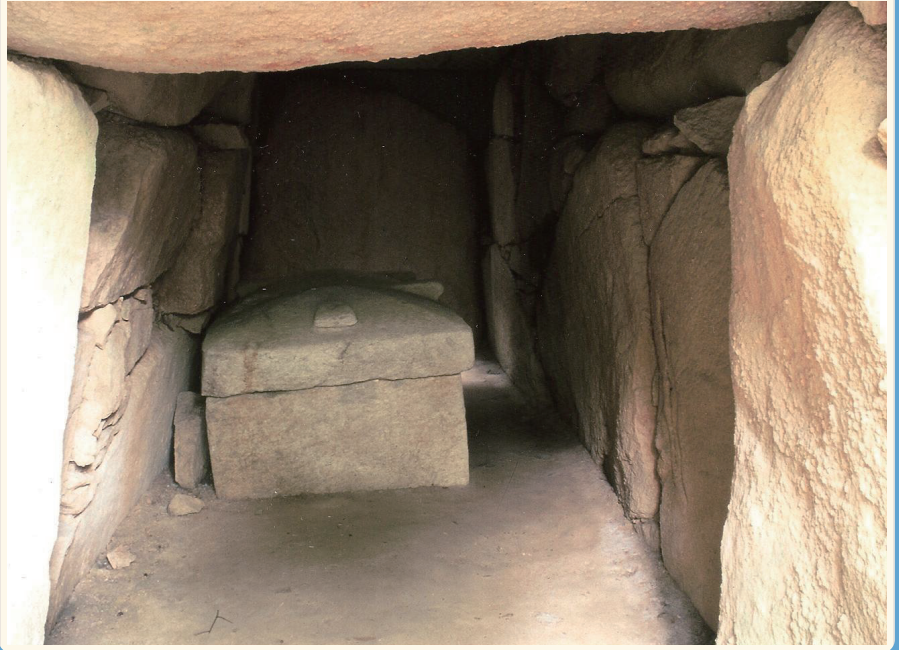
えざきこふん

江崎古墳

新高見梁市

総社市

早倉矢井浅里笠
島敷掛原口庄岡
町市町市市町市



場所

・総社市上林



時代

・古墳時代



指定年月日

・昭和61(1986)年
4月4日



所有

・総社市他



し せき

この史跡について

こうもり塚古墳に次いで、6世紀の後半に造られた備中地域最後の前方後円墳です。横穴式石室内には、井原市産出の貝殻石灰岩で造られた石棺が安置されており、中から20代後半から30歳にかかる壮年男性と、30代後半から40歳近い壮年女性の2体の骨が発見されています。

その他、棺を留めたと考えられる鉄くぎも出土していることから、木の棺も使用されていたと思われます。

出土した土器からみても、6世紀後半から7世紀のはじめまで何度か埋葬が行なわれたようです。須恵器や土師器などの土器、ガラス玉、鉄の矢じり(鉄鏃)、刀などのほか、吉備の首長にふさわしい金を張った馬具や耳飾、鏡などが共に埋葬されていました。